

新潟市戸葉区にあるショールームの様子。重厚感はありながら、華美な色使いを避け、シンプルな紋様の絨毯は日本の住宅にもぴったり。

売り手、買い手、つくり手、
みんなが幸せになる物づくり

「三方良し」を生かせる モロッコ絨毯との出合い

「三方良し」とは、「売り手良し、
買い手良し、世間良し」という近江商人の哲学をあらわした言葉です。商いにおいて、商人だけが得をするのではなく、商品を購入した人や社会にも貢献できる働きを目指す。その理念に共感し、「三方舎」を設立しました。

特に大切にしているのは、「作り手」の想いです。上質な天然素材を用い、作り手の想いのこもった長く愛せるもの。を生活の中で使っていたところで、ものを大切に思う心、環境への配慮を伝えた。その結果、作り手も豊かになります。幸運の循環。起こしたい。それが私の役割だと思っています。

これまで20年近くにわたってイラン遊牧民の手織り絨毯「ギヤフベ」を選定し、日本中に紹介してきましたが、「三方良し」を願い、モロッコの人々と一緒に汗をかきながらあらたな物づくりができる幸せとやりがいを日々実感しています。



Profile

三方舎 代表 今井正人

1969年、新潟県生まれ。イラン遊牧民の手織り絨毯の中でも芸術性・品質の卓越した「アートギャッベ」の魅力を全国に広めた中心的存在。2011年、伝統染織の復興・継承プロジェクトを行う三方舎を設立。現在はモロッコを中心に活動している。



本物を追求する熱き人々
2

「三方良し」の理念で
人々の感性を豊かにしたい

三方舎 代表 今井正人

次の世代に手渡したいのは、
本物を選択する価値観と豊かな感性



三方舎

〒956-0864
新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目4-22
☎0250-25-3939
<http://www.sps-i.jp/>

[ショールーム] GOSHIMA COLLECTION
〒956-0031 新潟県新潟市秋葉区新津4462-3
インテリアショップ ポー・デコール新館2F
営業時間 10:00~19:00
定休日 毎週水曜日



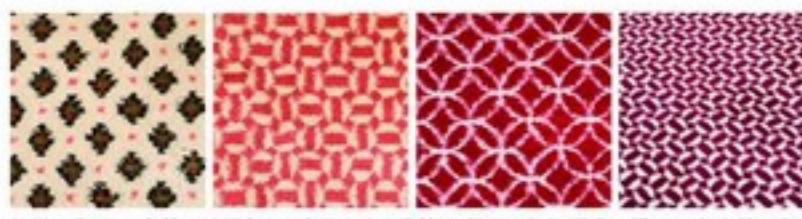
現地の女性協同組合でつくった革小物。モロッコに足を運ぶうちにかかわるようになった



毛足の長い羊毛で織られているだけあって厚みもたっぷり。こちらは座布団サイズの絨毯



世界中を旅してきた今井さん。トルコで出合ったタイル画や絨毯などが並ぶ



紋様の意味は、危険や嫉妬心から家族を守る魔除け、繁栄・成功・長寿の願いなど。自然の恵みへの感謝とともに「幸せが八方に広がりますように」との願いが込められた図柄が多い

幸せを願い、
想いを込めた
心を育む織物

本物を身近におくと
自然と感性が育まれる

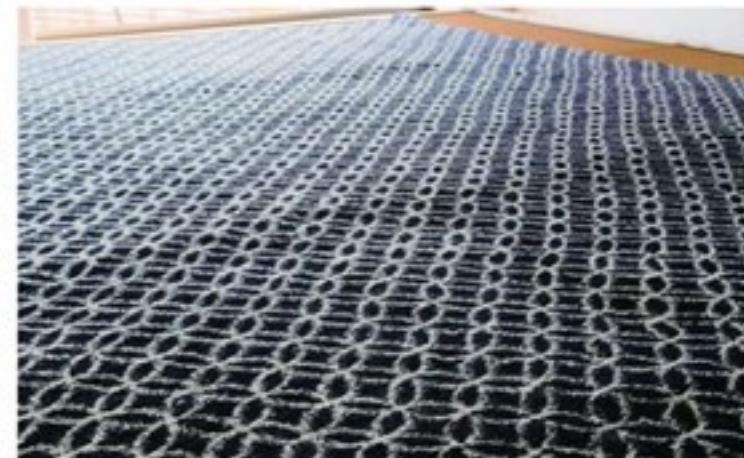
みんなが集まるリビングに敷かれた絨毯は、何十年もの間、ずっと家族の歴史を見守り続けてくれます。世の中には安く大量にてくれる絨毯もたくさん出回っていますが、わずか数年で捨ててしまうものを選ぶ時代はもう終わり。これからは、「本物を長く使い続けたい」と考える人たちが増えて

いくのではないか。
私は、家も同じだと思います。自然素材を使い、人の手でていねいに造られた家は、使い込むほど表情豊かに育ってきます。たとえ、傷や汚れがついたとしても、そこに家族の思い出をとどめながらともに成長していくもの。

そんな本物に囲まれて育ち、おらかな感性を持つ子どもたちが、素晴らしい未来をつないでくれることを願ってやみません。



ショールームには、モロッコ絨毯のアンティークコレクションのほか、今井さんが国内外から集めた調度品の数々も展示されている



日本の七宝紋様に似た透切れのない幾何学模様が悠久の願いと呼応する。100年はもつといわれる上質な羊毛は脂分を含むため水分をはじき、汚れにくい特徴もある

日本とモロッコを
つなぐ想い
一枚に込めて

モロッコと日本の伝統的な図柄を融合

現在では、モロッコ王室御用達の絨毯工房にも依頼し、より品質の高い織物をつくっています。

GOSHIMAロイヤルコレク

ションと名付けた絨毯のデザインは、モスクの壁画や、モロッコに古くから伝わる繁榮や魔除けをあらわす紋様などをもとに、日本家屋にも合うようアレンジ。たとえ

手さそりませんが、流行に左右されず、日本人の奥底に眠るDNAを自覚めさせるようなこの懐かしい趣を持っています。

羊毛は標高2000mを超えるアンチアトラス山脈に生息する長毛の羊の毛を使っています。一日の寒暖差の激しい高地で育まれた上質な羊毛は保温性・調湿性に優れ、冬は暖かい空気の層をつくり、夏はさらっとした肌触りで一年中快適に過ごすことができます。

染色にはモロッコの大地の恵みで、あるヘナ、レセダ、茜といった草木を使い、何度も染め重ねて深みのある色合いを出しています。その羊毛を織り子さんが一枚一枚手織りで仕上げていきます。

制作期間は3ヶ月ほどの大きさで半年から1年。ほとんどが受注生産ですが、依頼者の写真を現地に送り、織り子さんはその人の顔を見ながら想いを込めて織っていきます。そうしたものづくりの背景まで想像すると、単に「絨毯」というだけではない、もっと深い価値を感じただけるのではないでしょうか。